

Title	東アジアの平和と民主主義：北朝鮮問題と地域安定基盤の構築(総合研究所 News：国際学術シンポジウム)
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.19-5：20-25
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/refs/modules/xoonips/detail.php?item_id=2361
Rights	

聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

国際学術シンポジウム
東アジアの平和と民主主義
—北朝鮮問題と地域安定基盤の構築—

実施結果—アンケート集計結果の概要—

2010年2月6日(土)13時～18時30分

会場：池袋・メトロポリタンプラザ12階第一会議室

同時通訳：日本語－韓国語

北朝鮮の核放棄の可能、政治体制の展望や経済再生の条件を探らなければならない。発展著しい六者議長国・中国、南北間の緊張緩和を模索する韓国、また資源国ロシアの役割は重要である。これら六者協議参加国の北朝鮮問題専門家が問題解決の道と地域の安定基盤をどう構築するかについて討論する。

主催者挨拶 小倉 義明 学校法人聖学院院長
講演

「日本の朝鮮半島政策」

小此木 政夫 慶応大学教授

「米国の北朝鮮政策と東アジア安全保障」

ヤン・C・キム 米ジョージワシントン大学名誉教授

基調報告

「南北関係と北朝鮮の政治・経済の現状」

康 仁徳 聖学院大学総合研究所客員教授

韓国元統一相、極東問題研究所理事長・所長

「中国の東アジア外交と北朝鮮政策」

朱 建栄 東洋学園大学教授・在日華人教授
会議会長

「ロシアの北朝鮮政策」

コンスタンチン・サルキソフ 山梨学院大学教授

「日朝関係と国交正常化問題の現状と展望」

遠藤 哲也 元日朝国交正常化交渉担当
大使、元原子力安全委員会委員長代理

コーヒープレイク

報告

「民間レベルにおける北朝鮮との交流」

任 成彬 韓国・長老会神学大学校教授

「北朝鮮核問題解決への課題と国際関係」

水野 孝昭 朝日新聞論説委員

コメント

「北朝鮮の対日政策」

尹 洪錫 極東問題研究所責任研究員

「北朝鮮の軍事力」

宮本 悟 聖学院大学総合研究所准教授

質疑応答・ディスカッション

パネリスト、コメンテータ同士の議論

会場参加者から質問と応答、ディスカッション

まとめ・提言

閉会の宣言

コーディネーター 小田川 興 聖学院大学総合
研究所客員教授、元朝日新聞ソウル支局長

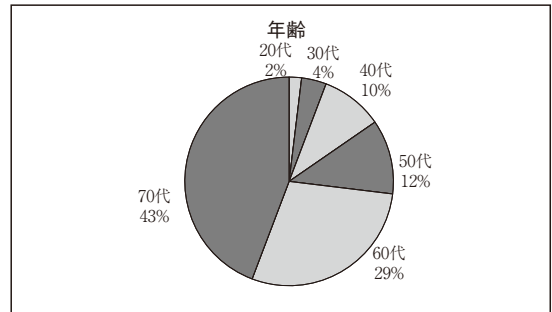
助成：国際交流基金 後援：朝日新聞社

【結果の概要】

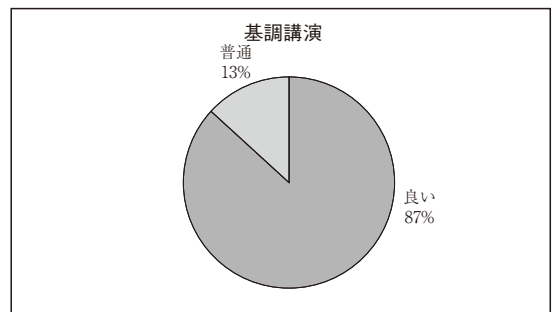
・参加者は167名、内アンケート回答者53名。

集計表・グラフ

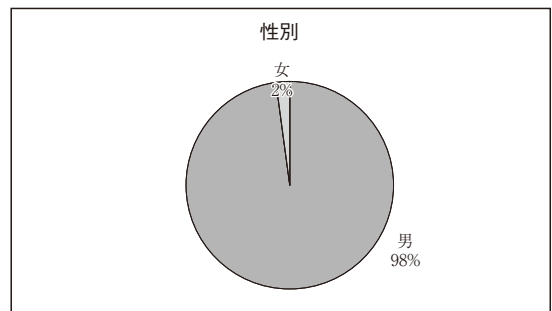
1.プロフィール



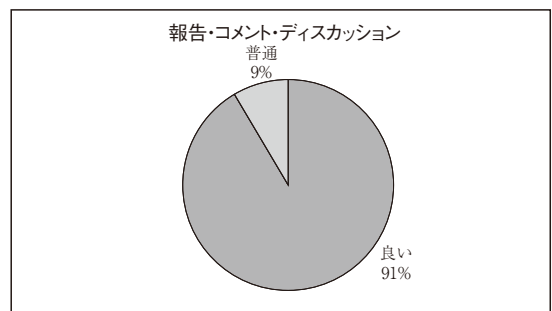
* 回答者の年齢は、70代が最も多く43%、次いで60代が29%となった。



* 基調講演について、「良い」という意見が87%となった。



* 性別は、男性が98%と大半を占めた。



* 報告、コメント、ディスカッションについて、「良い」が91%と高い評価だった。

基調講演について

- ・パネリスト各人の優れた知見から得ること絶大でした。各国の代表者が参加されたことが特によかったです。
- ・講演者同士の質問、意見交換が一番よかったです。北朝鮮問題は“太陽政策”という東西価値意識と政治文化を集中してやるとよい。
- ・中国の外交が内制政治の延長上にあるとの一貫性のある中国政府の思想に感心しました。
- ・小此木先生の併合のコメントは、ドイツと対比されて興味深かった。北朝鮮の体制変化が必要という事でしょうか？金正日が活着しているうちに。
- ・北朝鮮問題を始め、アジアの理解は歴史的段階の差異などによって難しい側面があるようだが、基調講演を聞くことによって理解の助けに役立ちました。
- ・ロシアの参加で多様になった。釜山からモスクワへ旅できると楽しいだろう。
- ・2人の基調講演であったが、一人一人の時間が短く、まとまった話をしづらかったのではないかな。
- ・朱建栄さんの話、通常日本のマスコミなどでは報道されない中国の立場、政策の基本を知ることが出来てよかった。その意味でロシアのコンスタンチン・サルキソフさんの話も興味深く聞くことが出来ました。
- ・康仁徳先生の講演が最も価値が大きいと思いました。
- ・朝鮮半島統一をドイツ統一の問題とからめ、100年のスパンで話を始められたのはシンポの



日韓中露のパネリストたちによってディスカッションが行われた

- スタートとして興味がわいた。ヤン・C・キム氏の講演も関心をもたれたが話しが消化不足。レジュメに期待します。
- ・情勢にリアルにアプローチしていて自分の関心にとって有意義であった。ロシアについては面白かった。
- ・もっとレジュメを具体的に使用し、黒板なども使用して講演してもらったら、相乗効果がでるのでは。分りやすくとても面白かった。多彩なゲストで驚きました。
- ・朱先生の講演が特に中国の考え方や立場などを分りやすく分析されていて大変良かった。ロシアの考え方が開けたのは良かった。
- ・コンスタンチン・サルキソフ教授のお話は聞きやすく、親しみを感じながら興味深く伺いました。遠藤哲也さんのお話も、良いお話でした。
- ・各自の見方の違いが浮き彫りになり、理解が深まった。基本データの開陳が多かったが、スピーカーは多彩だった。
- ・北朝鮮政権が鳩山政権に期待しているというが、外国人の地方参政権をめぐり対立あり。簡単に対話外交は、制裁容認している以上進まぬ。拉致問題も進まない。
- ・六者協議の各参加国を代表するスピーカーのそれぞれの視点が興味深かった。この問題に関して、最新の情報を得ることかできた。
- ・論点不明確、パンチが無い！TV出演時も同じ印象。
- ・近年の朝鮮半島情勢や北朝鮮問題、日・中・韓・ロシアとの関わりについて詳しく知ることが出来た。
- ・サルキソフ氏の講演をもっと聞きたかった。どの先生のお話も有益でした。
- ・それぞれの視点からの講演で参考になりました。
- ・十分に話をきく時間はなかったが、資料にて研究させていただきます。
- ・みなさん日本語でスピーチされていて、感動しました。
- ・康先生はいい。
- ・小此木先生のまとめは判りやすい。
- ・レジュメが大変充実しており、非常に役に立つ

た。

- ・基調講演は必要ないのではないのでしょうか。
- ・一人一人の時間をもう少し多くしてほしい。資料は大変よくまとまっていた良かった。
- ・もう少し時間を与えるべき、30～40分。せっかく面白い話がはしょりがちになった。
- ・時間がなく、中途半端が残念である。
- ・時間が短い。
- ・パネリスト間の意見交流で理解が深まった（特に水野氏の発言）。
- ・聖学院に合っている主テーマは人類普遍哲学と個別地域伝統価値におくと、すごいと思う。
- ・ディスカッションはゲストの方が内容をかみ砕いて説明してくださり分りやすかった。
- ・「普天間」の課題を広い視点で取り上げたのは適切。日本の見方はせまい。
- ・朝鮮問題解決なしには基地問題は解決しない。日本政府のやるべき事は明白。
- ・東アジアの平和にアメリカが大きく関与している現状があるが、キム教授の出席の他に、アメリカ政治、外交の専門家（アメリカ人）の出席も望ましいのではないか。日・韓・露・中の専門家によるシンポを広げて、日・米・韓・露・中とすれば更に話しが深まるのではないか。
- ・専門的な話も多かったが、日本の現実的な課題に向けて分りやすい説明がよかった。興味深い話も伺えて有意義なシンポジウムだった。
- ・講演、報告とも時間制限により消化不足。これだけの講師陣を起用された割に結果的に効果出ず。
- ・講師の持ち時間をせめて30分位にしてほしい。舌足らず、慌ただしさが感じられ気の毒。こちらもう少し聞きたいという点が多かった。もっとも、10人の講師とあれば時間的には無理なのかも知れないが…。
- ・任成彬氏の民間レベルからの報告が特に興味深かった。この種の次元のものを、もっと分野を広げて報告を聞きたい。
- ・私の意見をとりあげてもらい感謝しています。普天間は朝鮮半島みつめるとしたら、その価値はありますが、現実的に捉えると、沖縄の人達を想うに至ると、グアムに出し、他の戦略構想

を、私はアメリカとわが国で新たなるプレゼンスを求めて捜していく必要ありと感じました。とにかく鳩山政権5月までと公約したため、アメリカの柔軟な出かたを待つしかない、私は考えます。

- ・日・中・韓・露の識者の方々の活発な討論を通じて直面している北朝鮮と東アジア諸国の情勢について深めることが出来たと思います。
- ・資料や報告、コメント大変参考になりよかった。これがなかったら消化不良に終わっただろう。
- ・報告も少なくとも20分はかけてほしい。特に康先生の話は十分時間をかけて聞いたかった。任氏の報告、宮本氏のコメントは蛇足の感がある。講師は全体で4～5人が良いと思う。
- ・報告資料を見ながら聞けるので非常に助かる。講師の内容も良い。遠藤氏の意見に同意。
- ・サルキソフ教授の意見は参考になった。尹先生の六者協議で米中の妥協の可能性の言及に注目した。
- ・パネルディスカッションは十分な時間が用意され聞き応えがあった。聞きに来て良かったと思いました。
- ・康先生抜群！
- ・準備も大変だったと思います。ご苦労さまでした。
- ・コメンテーターの人数が多すぎて話が要領得なくなっている。
- ・時間が短いのが残念。

自由意見

- ・オバマ、鳩山政権の連携プレイ（中国、韓国も



167名の参加があり会場はいっぱいになった

含め)が今は重要と思われる。ブッシュ、小泉ラインに戻るべきではない。

- ・主体思想(民族意識)もかみ砕いて教えて下さい。比較政治学的手法、小此木教授の勉強法でいくと、限界ギリギリまで問うと『文明論』にたどり着くと思う。
小此木教授(サッチャー流)は『半島統一反対論』も用意してくださったと思う。
- ・教会が民間南北交流に大きく係わっているのに喫驚!聖学院がこのシンポジウム主催したことを納得。
- ・大変価値のあるシンポジウムであった。有力なパネリストを迎えていただきましたが、今後もふさわしい専門家を内外問わず、お願いできることになれば良いと思う。会場はもっと広くてもよいのではないか。今日のシンポジウムには日本政府関係者の参加がないのは残念であった。
- ・朝鮮半島情勢が大きな変化を迫られそうな時期にシンポジウムの開催。大変勉強になりました。次回も参加させていただこうと思っています。
- ・このようにそうそうたるメンバーの教授陣の講演はなかなか聞けない。もう少し長い時間が用意されていないと申し訳ないような気がする。いずれにしても貴重なシンポジウムありがとうございました。
- ・ディスカッションで問題点がハッキリし、総花的報告から脱却出来てよかったと思います。しかし、どう解決すべきかという視点に欠けた。米朝会談に主眼を置くことにますます批判・反省意見として、中国の立場が重要。制裁緩める方向で日本も参加することが必要とのヤン・C・キム氏のコメント有効でした。
- ・自公から民主へ政権交代した意味を庶民に分りやすく概括してほしい。国際的グローバル的把握も大事だが、37万平方kmの狭い国内の足元を映し出してくだされば幸甚であります。
- ・充実した非常に有益なシンポジウムだった。結論やまとめは必要なし。報告、コメンテーターの意見すべてはそのままよいと思う。聴講者の受け取り方によるだろうが、おおよその方向は一致していると感じる。

- ・基調講演も報告も「国家関係」次元のものがあつたが、「平和と民主主義」を追求するものがあれば、更に「民衆」次元からアプローチが必要ではないかと感じた。
- ・様々な識者の意見を拝聴でき、新聞好きな私、そしてある職務をめざしている私にとって、とても楽しく東アジアについて新たな思いを抱きました。例えば、アメリカの寛容政策の重視はアメリカの単独主義自らの道義的責任を果たす方向になる。その際、期待できる思想として、私は改めて全世界観における東アジアの包括されている意義も同様に思考するべきと考える。私の宿題としてこれから学んでいく思いがわいてきました。これからも今回のようなシンポジウム、期待しています。今後も開催する意向がありましたら、お知らせください。
- ・演目がたくさんあり、それぞれは貴重な意見だと思うが、一方ですべて中途半端に終わっている。もしこれだけの内容をこれだけの人でやるのなら、午前・午後と通してやる方がよい。駄目なら思い切ってカットすべきである。
- ・複雑で不安定要因を抱えながらも、発展が期待される。東アジア情勢を自分自身で理解し、整理する上で極めて有用な機会を与えていただいた。ありがとうございました。
- ・20回も続いているシンポジウム、時を得た演題ばかりで大変役立ちます。どうぞこれからも続けて下さい。
- ・基本的に、①中国は南北統一に反対②鄧小平らの発言では中国は三代世襲に反対③金大中と金正日は統一後の米軍配置に合意したが、今もそうか疑問だが、これについて意見を聞きたい。
- ・進攻をした東条などのおどしに恐れてむしろ毎日新聞と共に国民をあざむき広告した。軍の進出に加担している。
- ・司会者を入れて5時間強で12人。なんと盛りだくさんな…。駆け足すぎて頭に入りません!講師は5、6人程度でも多いくらいだ。もっとじっくり聞かせるシンポジウムにするように検討願いたい。
- ・講演者の数が多く、すべての方の意見を消化しきれなかった。講演の時間、及び数を少なくす

るべきでないだろうか。

- ・ 全般的に時間が短く、各講演者とも不完全燃焼になったのではないのでしょうか。もう少し絞り込んではいかがでしょうか。(5分のコメントでは気の毒)

毎回シンポジウムで北朝鮮問題が取り上げられているのは、継続は力であり、有意義だと思う。ただし、今回は日本の政権交代や北朝鮮の後継者問題など外部環境は変わってきており、そういった状況を踏まえた総括があれば分りやすい。(東アジア共同体構想など)

- ・ ロシアの対北朝鮮への対応を聞くことが出来たのはよかった。
- ・ スピーカーの発表の時間は短かったが、その分の資料が充実していたので、十分に補われたと思います。
- ・ 台湾への武器供与問題まで入った論議が聞けてよかったと思います。
- ・ 今までに無い討論を聞く経験が出来てよかったです。
- ・ 今後も是非今日のようなアジア問題についての学術シンポジウムを拝聴したいと思います。
- ・ 北朝鮮の代表として、朝鮮捻時幹部を参加させたらどうでしょうか。
- ・ 「定点観測」の機会を続けてほしい。感謝。
- ・ 北朝鮮問題への理解が深まった。
- ・ 北朝鮮の現状についてのコメントが、例年に比較して少なく、若干物足りなかったと思いました。
- ・ 北の改革解放を進める方策は？難しい、出来ないと言っているのは。